

# フィデリティ・ 世界割安 成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

Cコース

(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)

Dコース

(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

2022年10月



愛称 **テンバガー・ハンター**

# TENBAGGER HUNTER

「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求・お申込みは...

## 大和証券

Daiwa Securities

<販売会社>

商号等 大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会 日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会／一般社団法人日本STO協会

設定・運用は...



**Fidelity** フィデリティ投信株式会社  
INTERNATIONAL

<委託会社>

商号等 フィデリティ投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第388号

加入協会 一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

# “流行に左右されず、市場が気づいていない 隠れた成長企業に割安な株価で投資”

## ファンドの特色

- 1 30年を超える優れた運用実績\*を日本へ
- 2 一貫した投資哲学でテンバガー(10倍株)の原石を発掘
- 3 フィデリティが世界に展開する企業調査

\*当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託Fidelity® Low Priced-Stock Fund(フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド、以下、「参考ファンド」という場合があります。)の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。

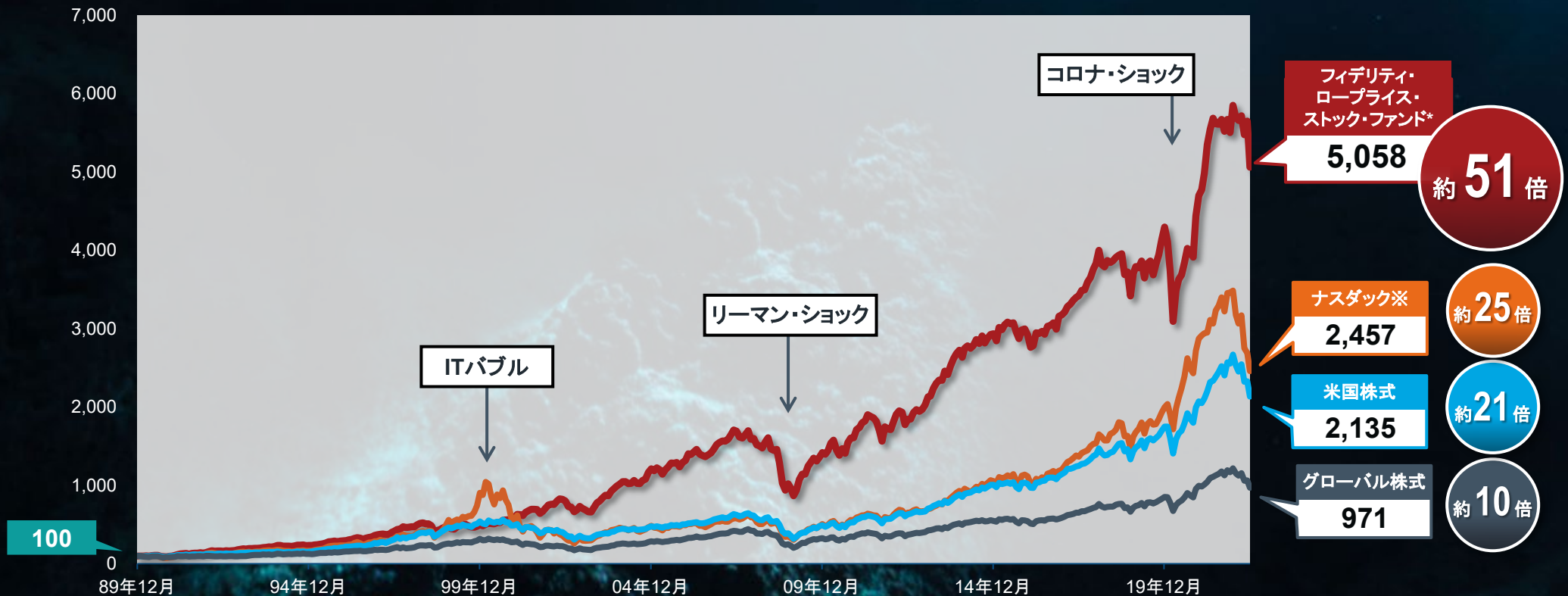
※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。

参考ファンド  
の運用実績

## 30年を超える優れた運用実績\*を日本へ

- ◆ 米国において1989年12月の設定から、世界的な危機を乗り越えて、30年を超える長期間の運用実績を積み重ねました。
- ◆ 設定来で約51倍のリターン実績を持ち、これはグローバル株式、米国株式、テクノロジー株を多く含むナスダックを大きく上回っています。
- ◆ 米国における参考ファンドの運用残高は約3.7兆円です。(2022年6月末時点、1米ドル=135.855円で円換算)

「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」(参考ファンド)と主要な株式指数の推移



(注)FMR Co、RIMESよりフィデリティ投信作成。米ドルベース。期初を100として指数化。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス(税引前配当込み)、米国株式はS&P500種指数(税引前配当込み)、ナスダックはナスダック総合指数(税引前価格指数)。期間は設定日(1989年12月27日)~2022年6月末の月次データ。

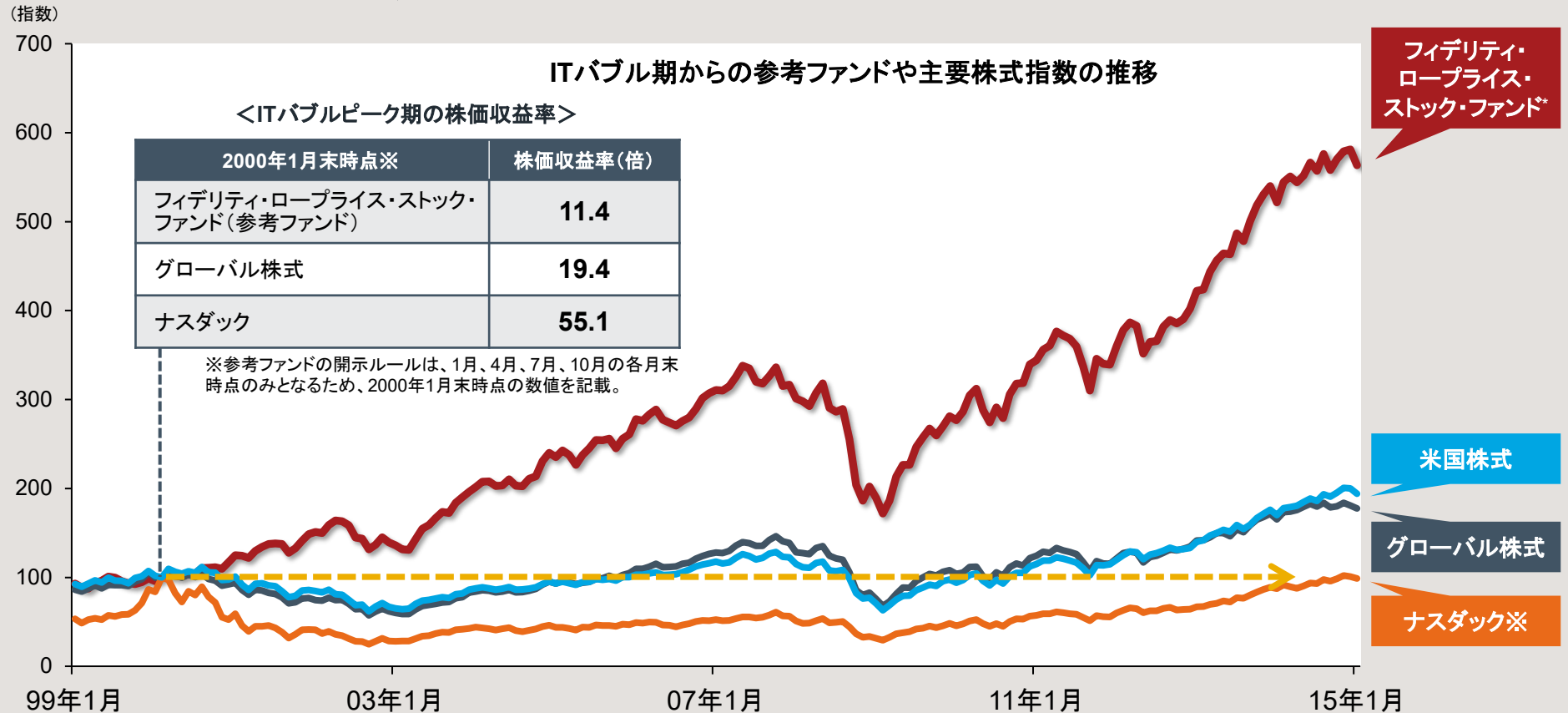
※ナスダックのみ期初時点で配当込み指数が取得できないため、全て配当を除いた価格指数を使用しています。

\*当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です(2022年6月末時点)。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。

# ITバブルを乗り越えた投資戦略

## 参考ファンドの運用実績

- ◆ ITバブル期、ナスダックは2000年2月に高値(月次ベース)をつけた後に下落基調となりました。ナスダックが同じ水準まで回復したのは2014年11月と、14年超の期間を費やしました。
- ◆ その期間、米国で運用している同様の戦略ファンド「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド(参考ファンド)」は、割高なIT関連株への投資を避け約5.8倍まで成長しました。グローバル株式は同じ期間で約1.8倍でした。



(注) FMR Co、Refinitivよりフィデリティ投信作成。株価収益率は株価/1株あたり利益。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス(税引前配当込み)、米国株式はS&P500種指数(税引前配当込み)、ナスダックはナスダック総合指数(税引前価格指数)。期間は1999年1月末~2015年1月末。2000年2月末を100として指数化。米ドルベース。

※ナスダックのみ期初時点で配当込み指数が取得できないため、全て配当を除いた価格指数を使用しています。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。

# 一貫した投資哲学でテンバガー(10倍株)の原石を発掘

テンバガーとは株価が10倍になると期待される銘柄のことです。

元来は野球1試合で10塁打をあげることを意味する言葉で、フィデリティのポートフォリオ・マネージャーであるピーター・リンチが使い始めたと言われています。

## 継承される“テンバガー・ハンター”の系譜

私の辞書によれば、ティリングハストは、  
歴史を通じて最も偉大かつ成功した  
ストックピッカーの一人である。 **ピーター・リンチ**

### ピーター・リンチ

「フィデリティ・マゼラン・ファンド」を1977年から13年間運用し、約28倍という驚異的な運用実績を残し、元祖「テンバガー・ハンター」と呼ばれる。元来1試合で10塁打をあげる強打者を表現する野球用語であった「テンバガー」を、「10倍株」を表現する言葉として、ピーター・リンチが使い始めたと言われています。

## テンバガー(10倍株)の原石を発掘する投資哲学

- 1 感情的になり、勘にしたがって投資をしてはならない。  
忍耐強く、合理的に投資をしなければならない。
- 2 流行に左右されず、独自の製品や特別なサービス、健全な財務を備えた強い事業に投資をしなければならない。
- 3 華やかで最新の話題性を持つ銘柄は価格が過大であることが多い。割安な銘柄に投資をしなければならない。

ジョエル・ティリングハスト

# TENBAGGER HUNTER

共同運用主担当者



**ジョエル・ティリングハスト**  
(ピーター・リンチから薫陶)

共同運用担当者



**サリム・ハート**  
(運用調査経験: 2007年~)

共同運用担当者



**モーガン・ペック**  
(運用調査経験: 2003年~)

共同運用担当者



**サム・シャモビッツ**  
(運用調査経験: 2002年~)

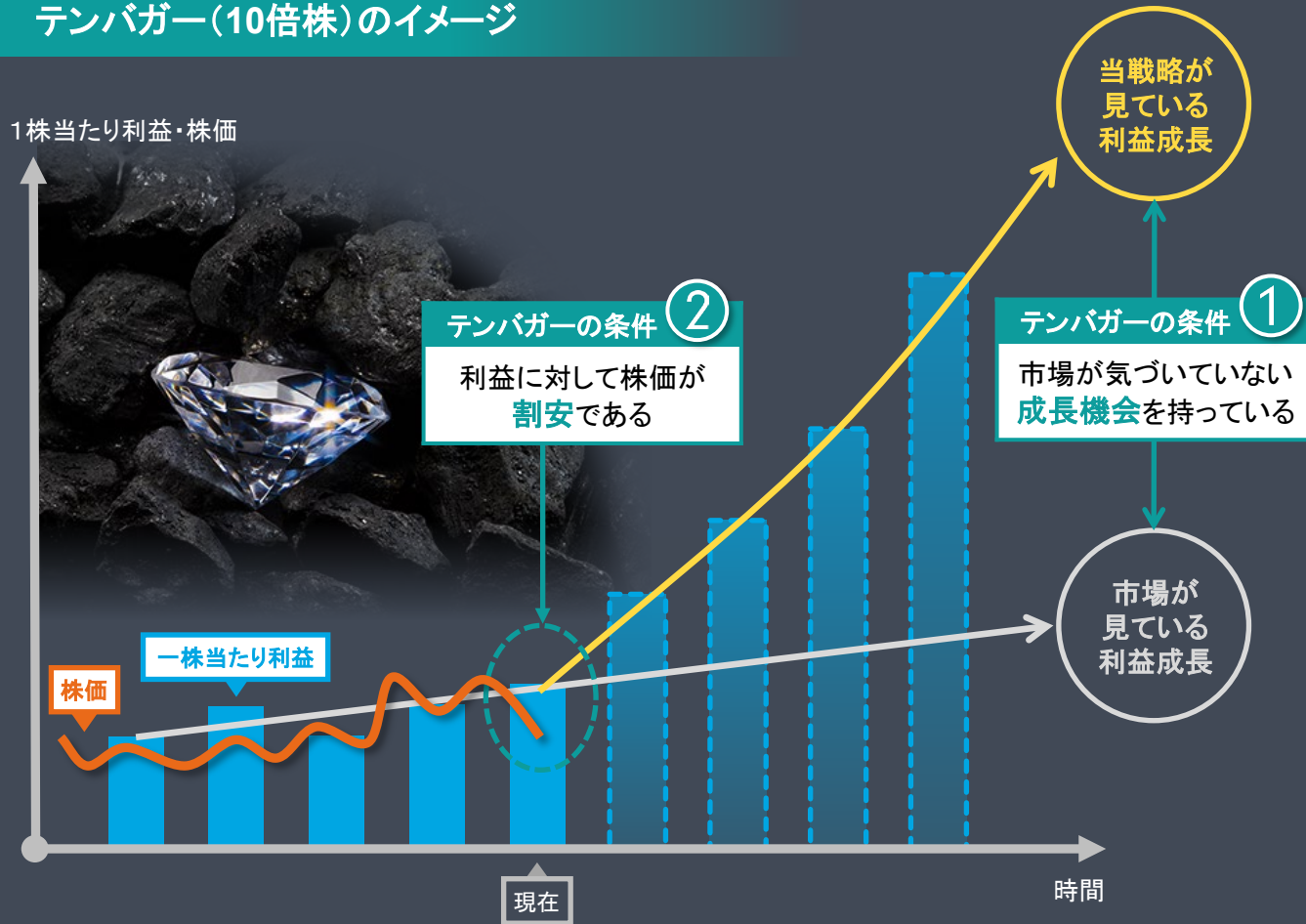
当ファンドの  
運用担当チーム

(注) 2022年2月末時点。

# テンバガー(10倍株)の原石は割安成長株にあり

“割安成長株”とは、市場が気づいていない成長機会を持つ割安な銘柄です

## テンバガー(10倍株)のイメージ



### 成長

#### 市場が気づいていない成長企業

- ◆ 独自の商品・サービスによる強い競争力が市場に認知されていない。
- ◆ 時代の変化を活かす経営戦略が見過ごされている。
- ◆ 市場では利益成長が低く見積もられている。

### 割安

#### 割安な株価で投資

- ◆ 成長期待が低いとされており、注目度も低く人気がない。
- ◆ カバーするアナリストが少なく情報不足。
- ◆ 小型株で投資対象から外されている。
- ◆ 市場では低PER\*に放置されている。

#### 利益成長とPER\*拡大のダブルメリット

- ◆ 市場予想以上に利益成長を達成。
- ◆ 人気が出てきて情報が増加。
- ◆ 時価総額拡大で投資家層拡大。

\*PERは株価収益率。

※上記はイメージであり、実績ではありません。テンバガーについてご理解いただくためのご参考として掲載しています。

# 参考ファンドにおける過去のテンバガー発掘事例

## 市場が気づいていない成長機会を持つ割安な銘柄を発掘した事例

### ワークマン

作業服などを扱う日本の小売企業



- ニッチな市場で必ずしも注目されていませんでしたが、高い機能性と手頃な価格、ファッション性に期待して、2003年10月に投資しました。
- その後、期待通りに利益が成長して株価が上昇したため、2018年1月に全売却しました。

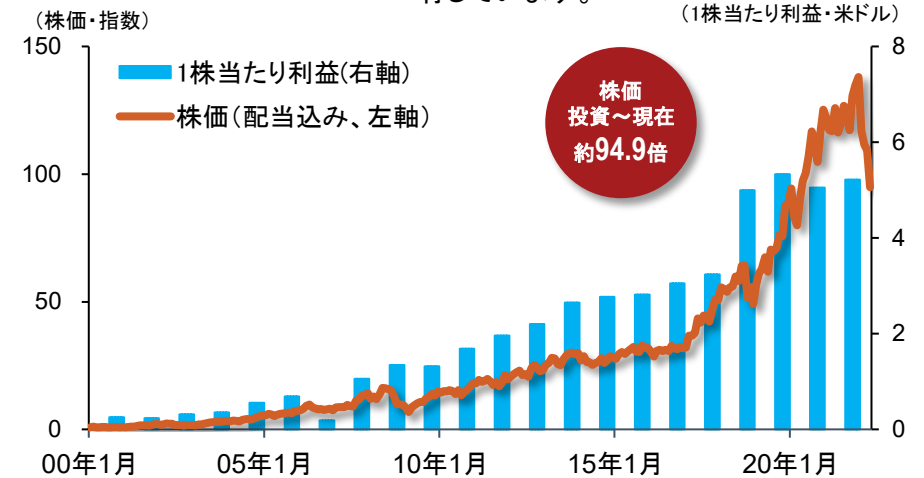


### アンシス

高度なシミュレーション解析ソフトウェア



- 速度や温度、圧力、振動などを複雑にシミュレーションできるため、自動車や航空機、医療機器、建築などの高度な設計において、世界中で利用されています。
- 同社のソフトウェアは高い技術で特別な機能を提供でき、参考ファンドでは2000年10月に投資開始し、現在も保有しています。



(注)FMR Co、Refinitivよりフィデリティ投信作成。2022年4月末時点。期間は左図：2002年3月末～2018年3月末、右図：2000年1月末～2022年4月末。株価は配当込み、現地通貨ベースで投資月を1として指数化。参考ファンドの銘柄開示ルールに基づき、投資月、売却月は1月、4月、7月、10月末の保有銘柄開示ベースとなります。1株当たり利益は年次データ。株価は配当込みの月次データ。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。写真はイメージです。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の事例です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の事例ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。

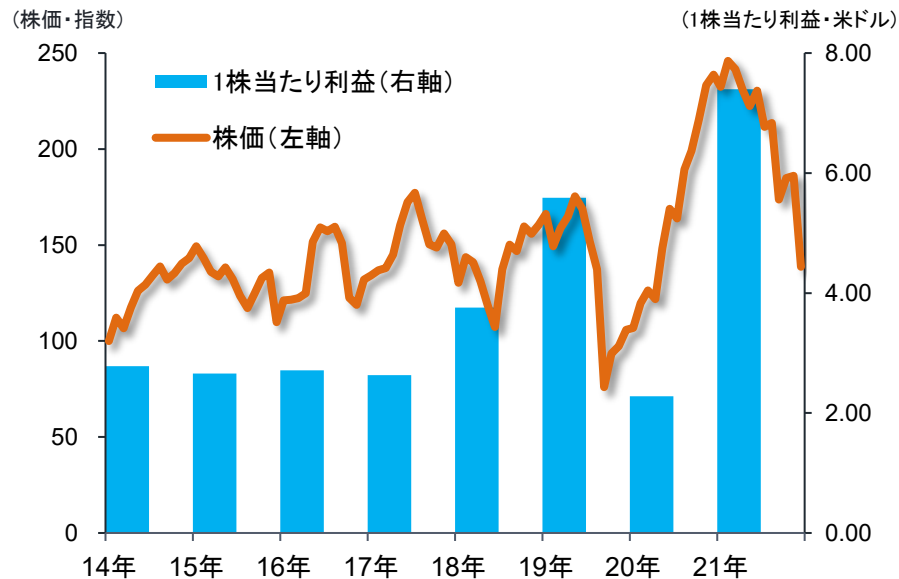
# 組入銘柄のご紹介①

独自の商品・サービスによる成長力×市場が競争力に気づいていない割安性

## シンクローニー・ファイナンシャル 米国のクレジットカード



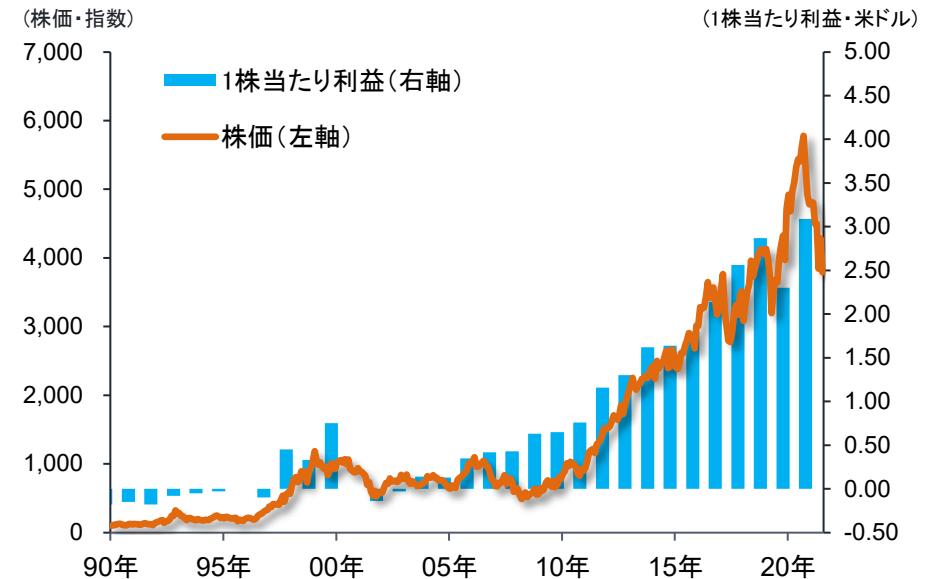
- アマゾンやペイパルなどとパートナーを組み、プライベートブランドのクレジットカードを提供します。魅力的なサービスと優れた財務健全性、強い顧客獲得力を背景に、高い収益の成長が期待されます。
- コロナ禍で利用者の支払い延滞が懸念されましたが、同社の財務状況は健全であると判断しました。その後、徐々に経済活動が再開に向かうなか、消費活動も回復し、同社の財務状況は改善しています。



## コムキャスト 米国のメディア・通信



- 米国の3大ネットワークのひとつであるNBCや英国の衛星放送スカイ、映画製作のユニバーサルやドリームワークスなどを傘下に持つ企業です。ケーブル通信事業を中核にして長期的に安定した成長を遂げる一方、次世代の高速通信事業も着実に拡大して利益率を改善しています。
- ケーブル通信事業は安定的な成長が展望される上、動画ストリーミング配信事業が新たな成長力として期待されます。



(注) Refinitivよりフィデリティ投信作成。期間は1990年12月末～2022年6月末。但し、左図は2014年7月(上場)以来。現地通貨ベース。1株当たり利益は年次データ。株価は配当込みの月次データ、期初を100として指数化。  
※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。写真はイメージです。



# 組入銘柄のご紹介②

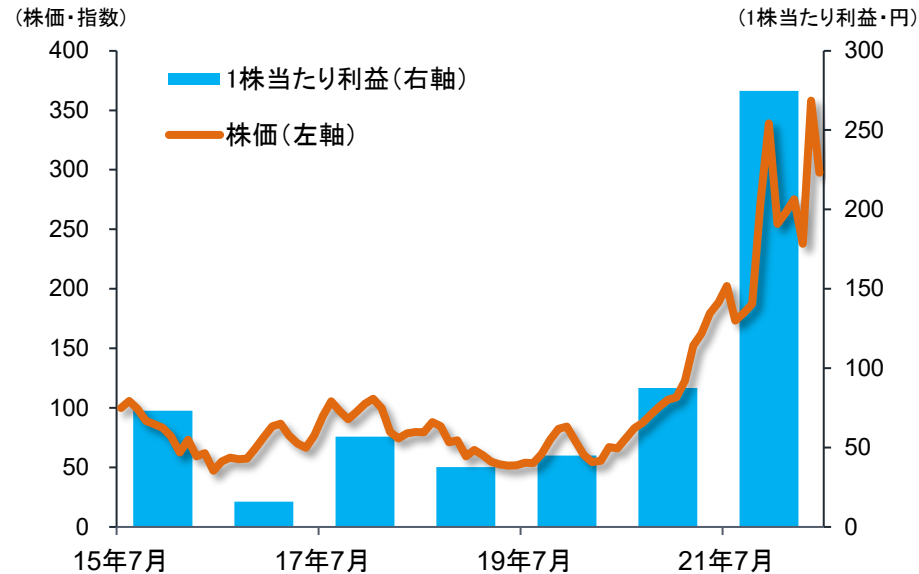
市場で低く見積もられている成長力×注目度や人気が高く割安に放置

## デクセリアルズ

日本の光学樹脂や電子部材



- スマートフォンやディスプレイなどをより高機能にする部材をグローバルに提供する日本企業です。同社が世界シェアトップクラスである異方性導電フィルムは、絶縁性、導電性、接着性を併せ持ち、中小型ディスプレイに広く採用されています。高度な薄膜製造技術によるフィルムや光学弾性樹脂は、視認性や耐久性、薄型化を改善し、スマートフォンをはじめ、自動車のメーターパネルや電子ミラーへの採用が進んでいます。
- 革新的な技術を開発する力があり、5G通信や自動車、医療機器、ICカードなどの幅広い領域での成長が期待されます。

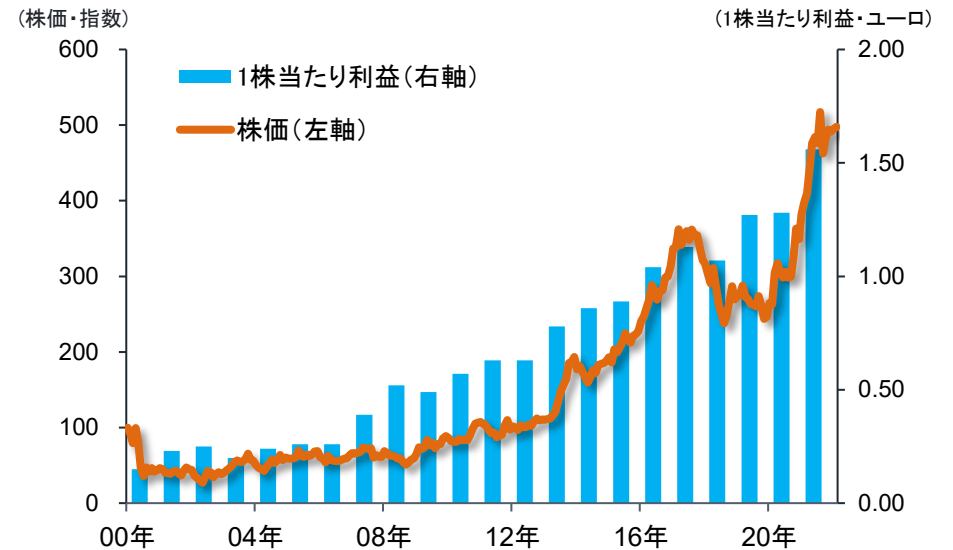


## ニューロンス

フランスのITサービス



- 情報システムの統合的な設計構築、IT機器の設備管理、セキュリティ管理などのサービスを提供するフランスのITサービス企業です。ニッチながら、デジタル化需要を捉えて、業績が拡大しています。
- ビジネスを過度に広げることなく、保守的な財務基盤を築き、売上と利益を着実にのばしてきました。市場での注目度は必ずしも高くなく、株価は割安に放置されています。



(注)Refinitivよりフィデリティ投信作成。期間は左図が2015年7月(上場)~2022年6月末、右図が2000年5月(上場)~2022年6月末。現地通貨ベース。1株当たり利益は年次データ。株価は配当込みの月次データ、期初を100として指数化。

※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。写真はイメージです。

# フィデリティが世界に展開する企業調査

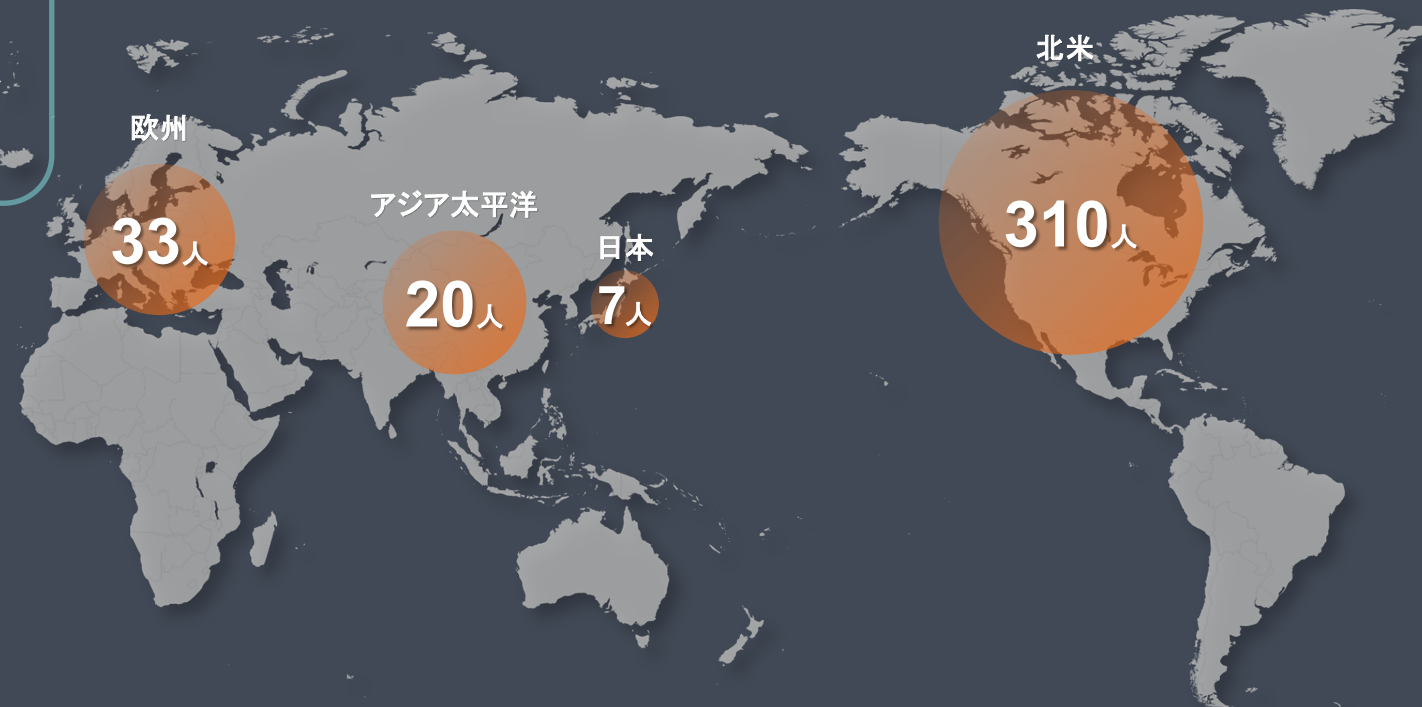
世界に370名以上の運用調査チームを展開し、  
徹底的な企業調査によりテンバガーの原石を発掘します。

**1** 世界有数の独立系運用会社  
70年以上にわたり様々な運用戦略を提供

**2** アクティブ運用を中心に圧倒的な存在感  
約**520兆円**を運用

**3** 世界最大級の運用調査体制  
運用調査プロフェッショナルは  
世界で**370名**以上

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。2022年3月末時点。  
運用資産額は1米ドル=121.375円で円換算。



# 世界最大級の運用会社

1946年の創業以来、徹底したボトム・アップ・アプローチにより世界最大級の運用会社へ



2021年  
4.5兆米ドル

運用資産残高 1兆米ドル突破

外資系運用会社初の  
日本進出

グローバルな企業調査  
の先駆けとして、1969  
年に外資系運用会社で  
は初めて日本に進出

1946年  
創業

1969年

2001年

フィデリティの  
運用資産残高の  
推移

創業以来のボトム・アップ・アプローチの徹底

調査対象企業を多角的に分析



年間 **1万2千回** にもおよぶ  
企業面談を実施

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。1946年～2021年。写真はイメージです。

# 当ファンドの運用プロセス



**対象企業**  
(世界的上場企業の内、流動性等を考慮して選別)

- フィデリティのグローバル調査体制を活用し、幅広く銘柄を調査  
(世界的上場企業数約5.8万社<sup>\*1</sup>の内、約1万社が対象)



**投資機会の発掘**

- 投資先企業との面談、訪問調査を実施



**ポートフォリオ構築**

- 事業の持続的な成長性・競争優位性・収益性と株価の割安度に注目して構築



**ファンド**

- 中小型銘柄も含めて幅広い銘柄に分散投資  
(ファンドの想定保有銘柄 約400-800銘柄<sup>\*2</sup>)

<sup>\*1</sup> World Federation of Exchange HP 2022年3月末時点。

<sup>\*2</sup> 投資環境や運用資産総額により変更されます。

※数値は概算値です。また予告なく変更される場合があります。相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。写真はイメージです。

# 組入上位銘柄 (2022年6月末時点)

## 組入上位10銘柄の概要

銘柄	国・地域	業種	特徴	比率
シグナ	アメリカ	ヘルスケア	医療保険をはじめ、医療サービスを提供。全米に幅広くネットワークを持つほか、世界的に事業を展開。	1.7%
シーゲート・テクノロジー・ホールディングス	アイルランド	情報技術	ハードディスク・ドライブを製造。大容量データ保存に適したストレージとして需要が増加傾向。	1.6%
アムジェン	アメリカ	ヘルスケア	遺伝子組み換えなどの最先端の技術を持つバイオテクノロジーの製薬会社。多様な領域で新薬の高い開発力。	1.4%
エレバンスヘルス	アメリカ	ヘルスケア	米国で医療保険を提供。医師や病院の広範なネットワークや的確な健康管理データ分析による顧客サービスを背景に安定的な事業構造。	1.4%
ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	個人向けや中小企業向けの金融サービスを提供。全米屈指の支店網を持ち、取引基盤が強固。	1.4%
ジェンパクト	バミューダ (英領)	情報技術	経理や購買など、事業活動のデジタル化サービスを提供。ゼネラルエレクトリックから独立して設立。	1.4%
ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア	米国の医療保険サービス大手。優れた経営陣の下、規模のメリットを活かし、的確なデータ分析に基づいて最適なサービスを提供。	1.3%
国薬控股 (シノファム・グループ)	中国	ヘルスケア	中国で医薬品の研究開発、医療機器の販売、小売薬局の事業を展開。医療業界は参入障壁が高い上、中国で進む高齢化と医療への需要増を背景に、高い成長期待。	1.3%
コンセントリクス	アメリカ	情報技術	製造業や金融、通信、小売、運送など幅広い産業分野における顧客サービスや販売サポート、マーケティングなどの業務を支援。	1.3%
トタルエナジーズ	フランス	エネルギー	フランスに本社を置き、石油やガス、バイオ燃料、再生可能エネルギーなどを世界的な規模で生産および販売。	1.2%

## 組入銘柄数: 451

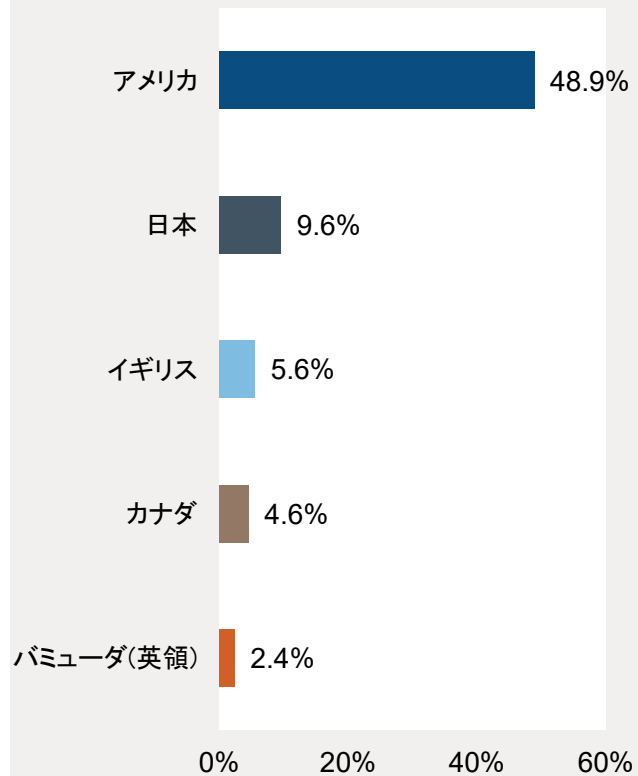
(注)フィデリティ投信作成。2022年6月末時点。マザーファンド・ベース。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。対純資産総額比率。  
※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

# 国・地域、業種配分とポートフォリオ特性

幅広い国・地域や業種から、有望な銘柄を発掘します。

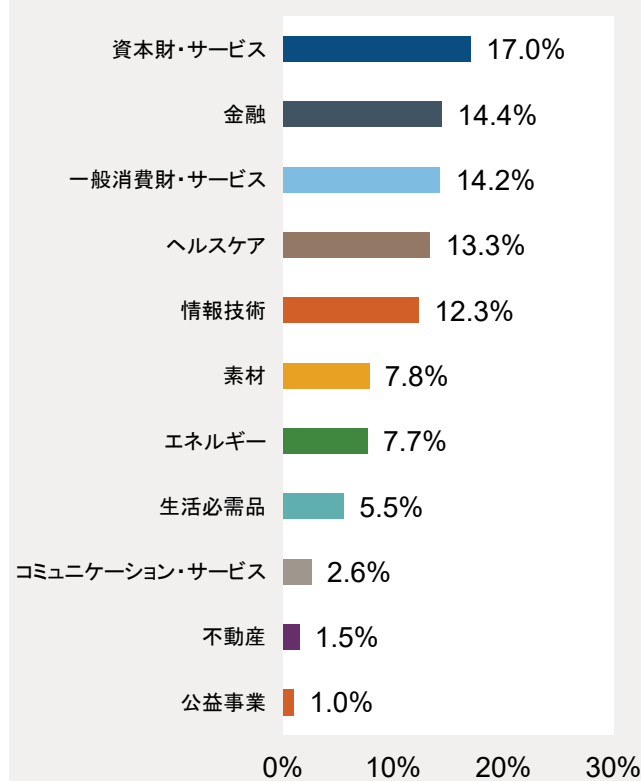
## 国・地域別配分

### 組入上位5カ国・地域



## 業種別配分

### 業種別組入状況



## ポートフォリオ特性

	ファンド	グローバル株式 (参考指数)
予想株価収益率(倍)	8.6	14.7
株価純資産倍率(倍)	1.6	2.7
1銘柄当たり平均時価総額(10億米ドル)	23.8	338.5

時価総額規模別の組み入れ	ファンド(%)	グローバル株式(%)
10兆円以上	9.7	52.8
1兆円以上10兆円未満	29.4	43.9
1,000億円以上1兆円未満	50.0	2.6
1,000億円未満	10.9	0.7
合計	100.0	100.0

(注)フィデリティ投信作成。2022年6月末時点。マザーファンド・ベース。国・地域別配分および業種別配分は対純資産総額比率。時価総額規模別の組み入れは対投資資産比率。配分比率はそれぞれの項目を四捨五入して表示。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス。

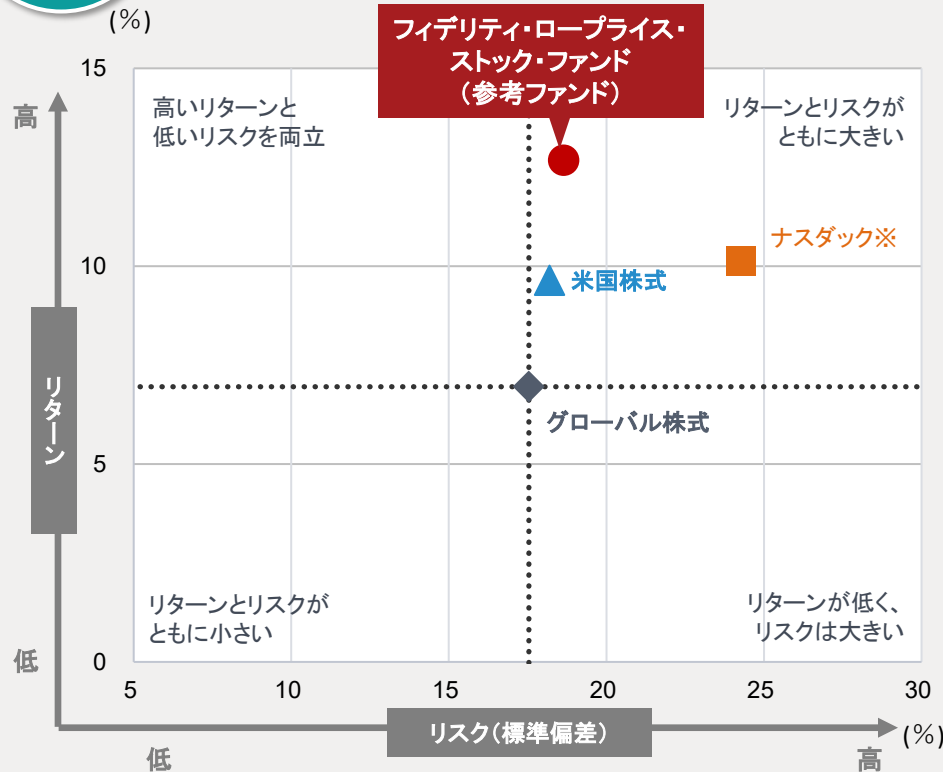
(ご参考)

## リスク・リターン特性と期間別平均リターン(参考ファンド)

参考ファンドは、リスクをグローバル株式市場の水準に収めつつ、優れたリターンを達成しています。

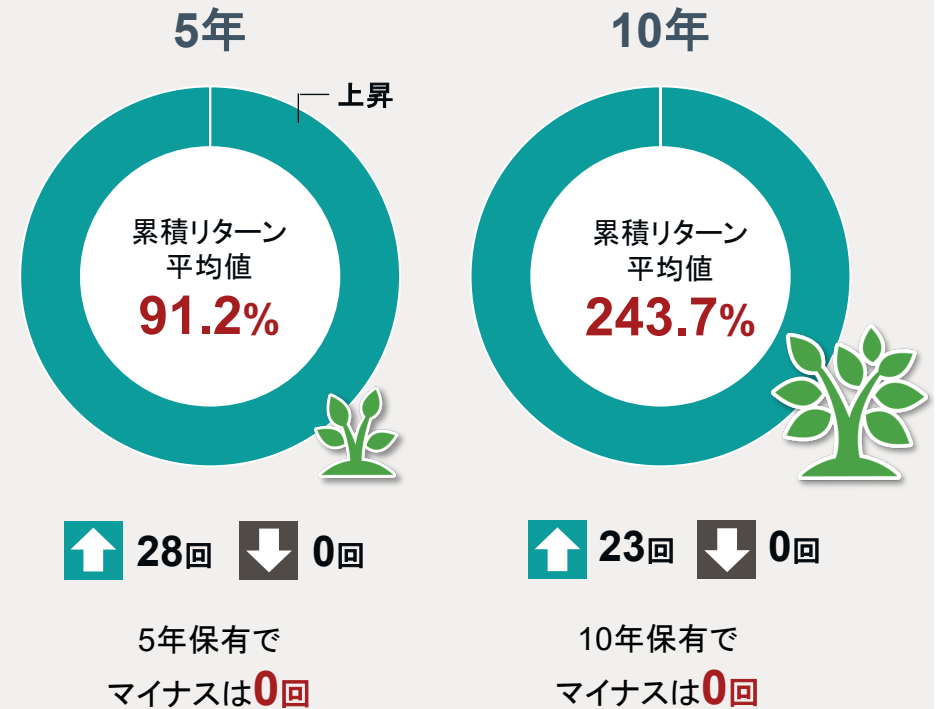
参考ファンドの運用実績

## リスク・リターン特性



参考ファンドの運用実績

## 期間別平均リターンと上昇・下落の回数



(注)FMR Coよりファイデリティ投信作成。左図:期間は1990年1月~2022年6月。月次リターン(円換算ベース)に基づく。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス(税引前配当込み)、米国株式はS&P500種指数(税引前配当込み)、ナスダックはナスダック総合指数(税引前価格指数)。右図:期間は1989年12月末~2021年12月末。米ドルベース。年次データ。  
※ナスダックのみ期初時点で配当込み指数が取得できないため、全て配当を除いた価格指数を使用しています。

当ファンドの投資対象である「ファイデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「ファイデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「ファイデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「ファイデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。

## (ご参考)コツコツ長期積立で将来への備え(参考ファンドによる試算)

- ◆ 毎月の積立額と積立期間の違いによる過去の運用成果は以下のようになりました。
- ◆ 積立額が大きく、長期になるほど、将来への大きな備えにつながります。

金額別、期間別の参考ファンドによる積立投資の運用成果の試算(カッコ内は元本総額)

毎月の積立額	5年間 (2017年6月末～)	10年間 (2012年6月末～)	20年間 (2002年6月末～)	30年間 (1992年6月末～)
1万円	<b>88万円</b> (元本60万円)	<b>228万円</b> (元本120万円)	<b>802万円</b> (元本240万円)	<b>2,634万円</b> (元本360万円)
5万円	<b>438万円</b> (元本300万円)	<b>1,142万円</b> (元本600万円)	<b>4,010万円</b> (元本1,200万円)	<b>1億3,168万円</b> (元本1,800万円)
10万円	<b>877万円</b> (元本600万円)	<b>2,284万円</b> (元本1,200万円)	<b>8,021万円</b> (元本2,400万円)	<b>2億6,336万円</b> (元本3,600万円)
50万円	<b>4,385万円</b> (元本3,000万円)	<b>1億1,420万円</b> (元本6,000万円)	<b>4億104万円</b> (元本1億2,000万円)	<b>13億1,680万円</b> (元本1億8,000万円)

### 計算の前提

- ・ 参考ファンドの実績は「フィデリティ・世界割安成長株投信」の信託報酬率(年率1.65%税込)を控除して算出。購入時手数料は控除無し。
- ・ 毎月末に積立を行うと仮定し、最終月末(2022年6月末)には積立を行わない。
- ・ 2022年6月末までの参考ファンドの運用実績に基づいた試算。

(注) FMR Coよりフィデリティ投信作成。円ベース。千円以下は四捨五入した金額を表示。

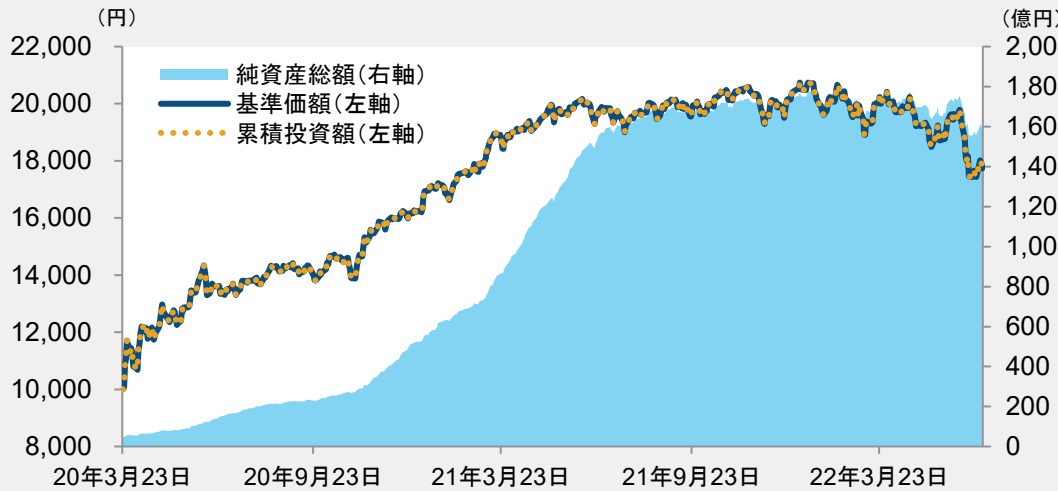
当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。



# ファンドの運用実績(1)

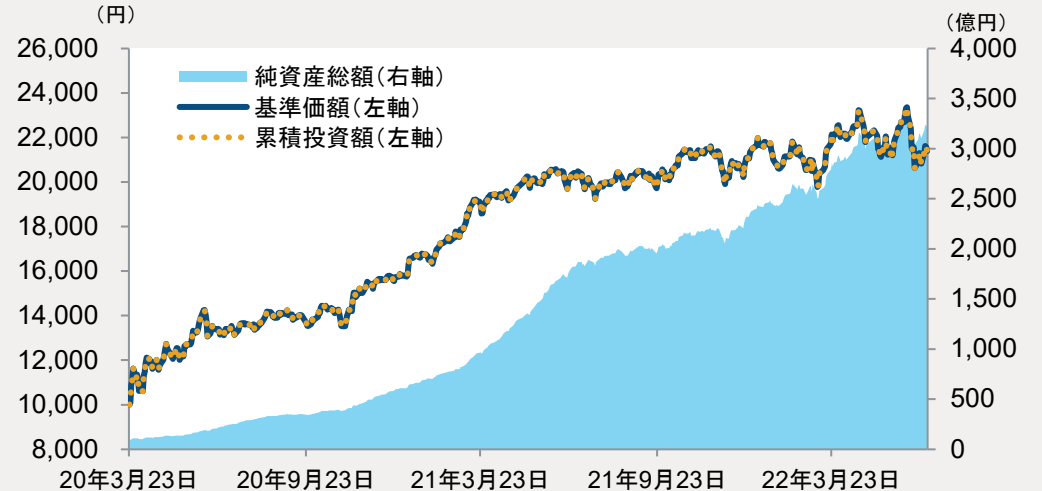
## フィデリティ・世界割安成長株投信 基準価額、累積投資額、純資産総額の推移 (2020年3月23日(設定日)～2022年6月30日)

### Aコース (為替ヘッジあり)



	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンドの累積リターン	-12.04%	-13.25%	-10.07%	-	77.31%

### Bコース (為替ヘッジなし)



	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンドの累積リターン	-4.05%	-0.47%	5.91%	-	113.90%

※基準価額は運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

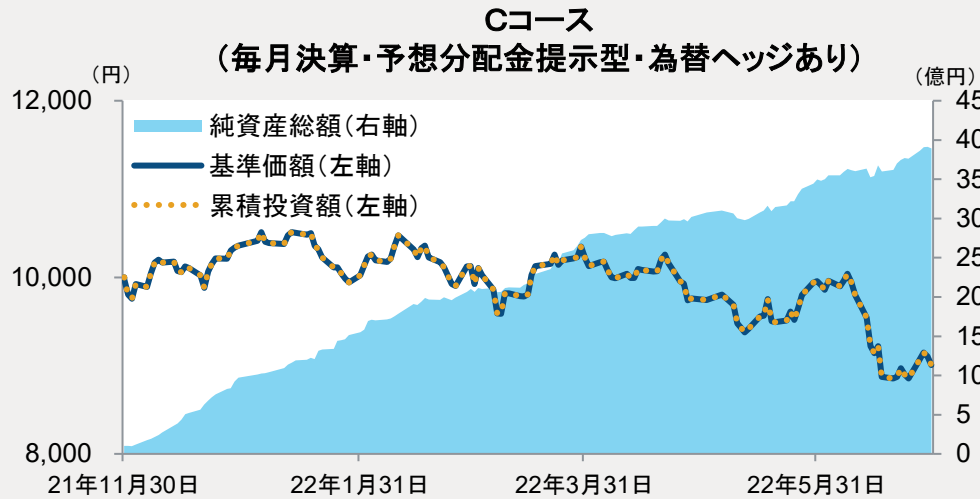
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※上記の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

# ファンドの運用実績(2)

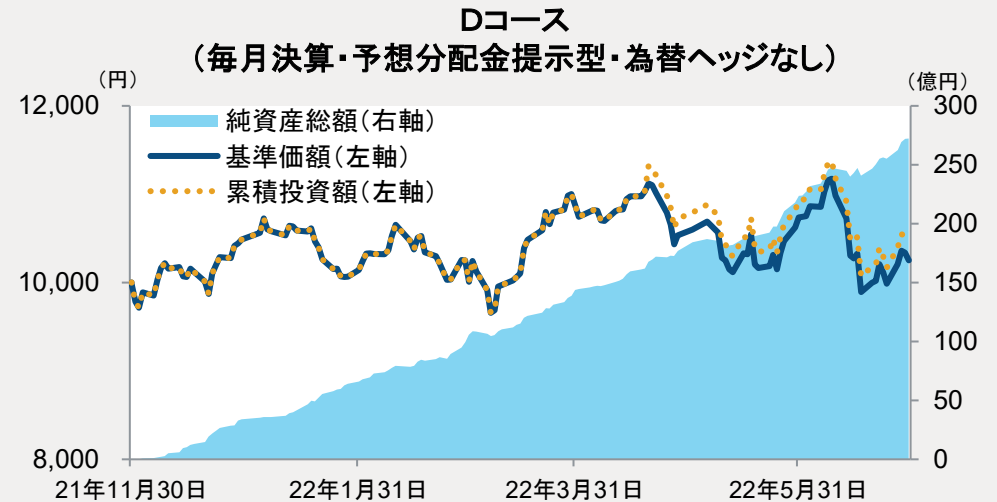
## フィデリティ・世界割安成長株投信 基準価額、累積投資額、純資産総額の推移 (2021年11月30日(設定日)～2022年6月30日)



	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンドの累積リターン	-11.88%	-13.05%	-	-	-9.92%

収益分配金(過去3期分および設定累計額)(1万口当たり/税引前)

第5期 (22年4月)	第6期 (22年5月)	第7期 (22年6月)	設定来 累計額
0円	0円	0円	0円



	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンドの累積リターン	-4.02%	-0.48%	-	-	4.36%

収益分配金(過去3期分および設定累計額)(1万口当たり/税引前)

第5期 (22年4月)	第6期 (22年5月)	第7期 (22年6月)	設定来 累計額
200円	0円	0円	200円

※基準価額は運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

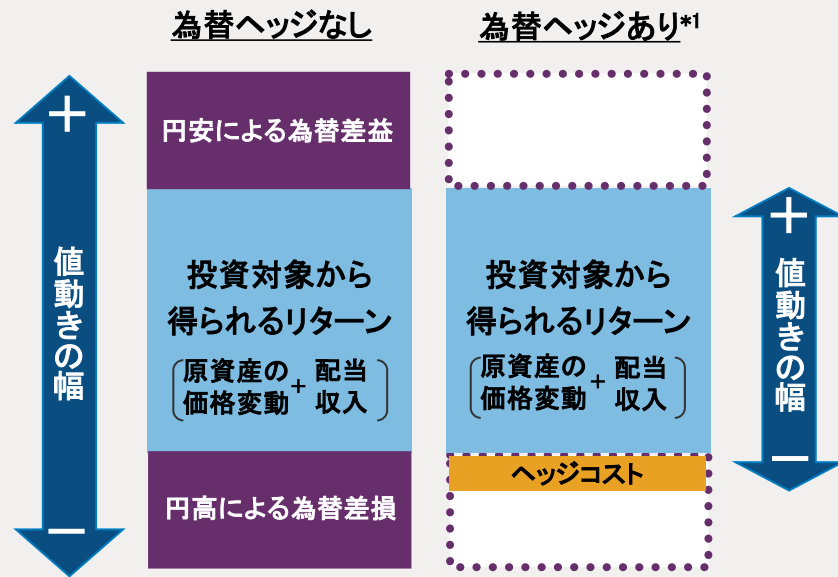
※上記の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用状況によっては分配を行わない場合があります。

## (ご参考) 為替ヘッジについて

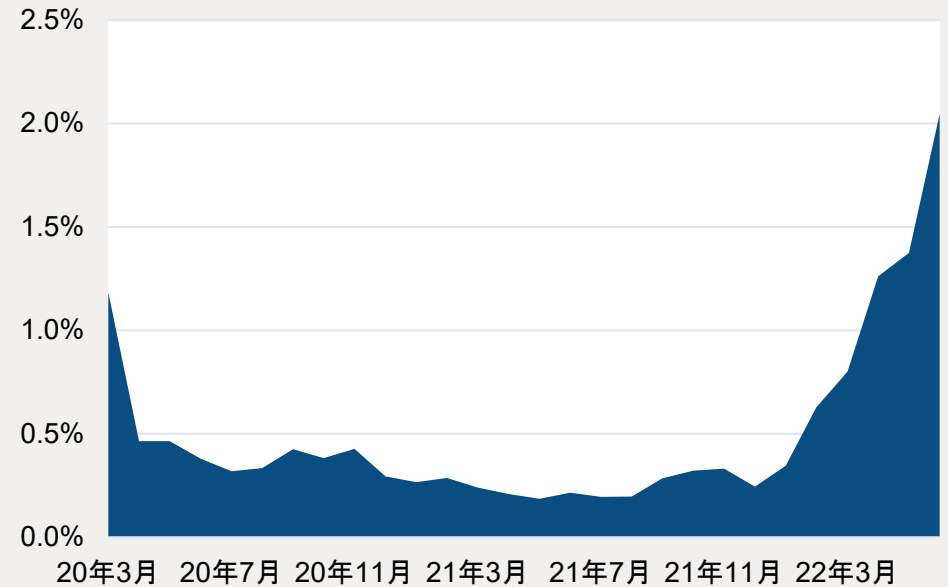
- ◆ Aコース(為替ヘッジあり)／Cコース(為替ヘッジあり)は為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- ◆ 為替ヘッジを行う際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。
- ◆ Bコース(為替ヘッジなし)／Dコース(為替ヘッジなし)は為替ヘッジを行わないため、外貨建の有価証券等に投資を行う場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

### ファンドのリターンイメージ



\*1: 為替ヘッジを行う場合は、為替変動によるファンドの基準価額に対する影響の低減を図ります。ただし、その影響を完全に排除できるものではありません。  
(注)上記はイメージ図です。実際のファンドのリターンの要因を全て表すものではありません。

### 概算ヘッジコストの推移(年率)



(注)Refinitivよりフィデリティ投信作成。2020年3月末～2022年6月末。2022年6月末時点のフィデリティ・世界割安成長株・マザーファンドの通貨別配分を使用し、主要通貨のヘッジコストのデータから概算ヘッジコストを計算。ヘッジコストは各月末時点における各通貨スポットレートと3カ月フォワードレートを使用し、年率換算。上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。



# ファンドの特色

- 1 フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
- 2 企業の長期的な成長力と株価の割安度に着目し、企業の本源的価値を見極める運用を目指します。
- 3 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ\*」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。  
\*ボトム・アップ・アプローチとは、綿密な個別企業調査活動を行なうことにより、企業の将来の成長性や財務内容などファンダメンタルズを調査・分析し、その結果をもとに運用する手法です。
- 4 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 5 Aコース(為替ヘッジあり)／Cコース(為替ヘッジあり)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。  
Bコース(為替ヘッジなし)／Dコース(為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。
- 6 マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ファンドは「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

# 収益分配方針

## <収益分配方針(全コース共通)>

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
  - 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
  - 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## <収益分配方針(Aコース/Bコース)>

毎決算時(原則2月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として上記の収益分配方針に基づき分配を行ないます。

## <収益分配方針(Cコース/Dコース)>

毎決算時(原則毎月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として上記、及び以下の収益分配方針に基づき分配を行ないます。

毎計算期末の前営業日の基準価額に応じて、下記の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上	400円

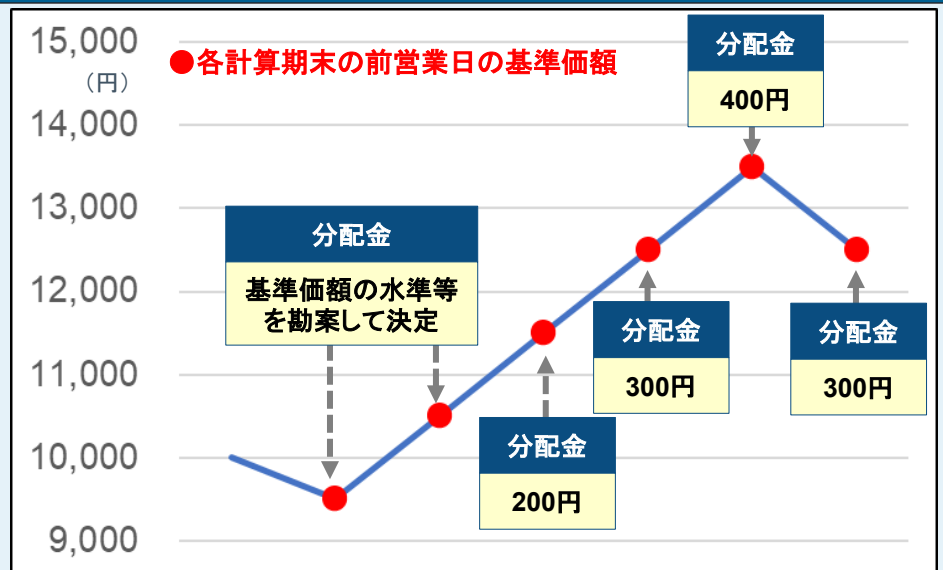
※毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。

※基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記表に記載された基準価額水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※上記表に記載された基準価額および分配金額は将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

### 基準価額と分配金のイメージ



※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を保証または示唆するものではありません。

# 収益分配金に関する留意事項

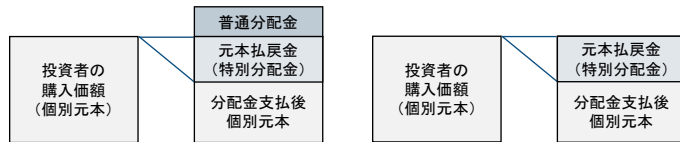
- 1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
- 3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選好に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

- 1 投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。  
 ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。  
 ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。

分配金の一部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合

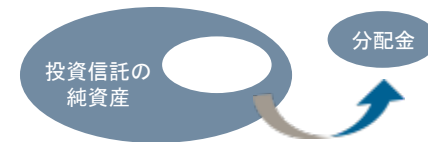
分配金の全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

- 「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約(償還)時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
- 「普通分配金」とは、個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 「元本払戻金(特別分配金)」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



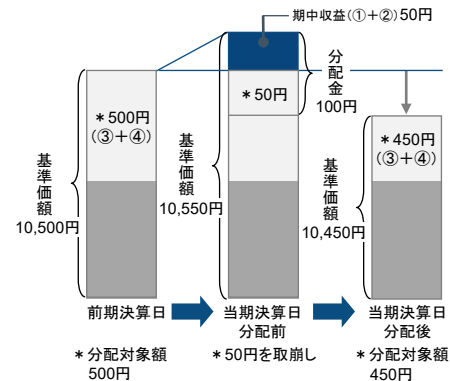
- 3 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。

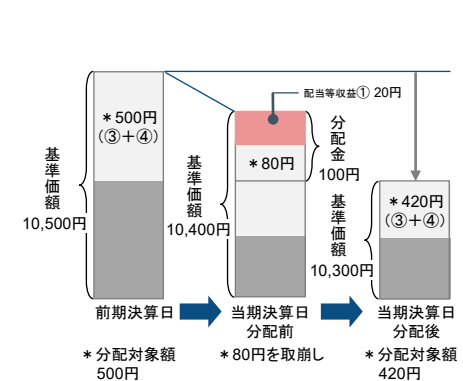
※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※右記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

前期決算から基準価額が上昇  
当期計算期間の収益がプラスの場合



前期決算から基準価額が下落  
当期計算期間の収益がマイナスの場合





# 投資リスク

## 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じる場合があります。

ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

## 主な変動要因

### 価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

### 為替変動リスク

Aコース(為替ヘッジあり)／Cコース(為替ヘッジあり)は為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース(為替ヘッジなし)／Dコース(為替ヘッジなし)は為替ヘッジを行わないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

### エマージング市場に関わるリスク

エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

### クーリング・オフ

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

### 流動性リスク

ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

### デリバティブ(派生商品)に関する留意点

ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

## お申込みメモ ①

■ お客さまが直接的に負担する費用			購入金額	手数料率
料率等		費用の内容		
購入時手数料	購入金額に右記の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口)×購入口数	商品及び関連する投資環境の説明・情報提供、事務手続き等の対価として、購入時に販売会社にお支払いいただきます。	2千万円未満	3.30% (税抜3.0%)
信託財産留保額	ありません。	—	2千万円以上5千万円未満	2.20% (税抜2.0%)
スイッチング (乗換え)手数料	ありません。	—	5千万円以上1億円未満	1.65% (税抜1.5%)
			1億円以上5億円未満	1.10% (税抜1.0%)
			5億円以上	0.55% (税抜0.5%)

## (ご参考)

口数指定で購入する場合	金額指定で購入する場合
例えば、基準価額10,000円の時に100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額 = (10,000円/1万口) × 100万口 = 100万円 購入時手数料 = 購入金額(100万円) × 3.30% (税込) = 33,000円となり、 購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくこととなります。	購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用		
料率等		費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年1.65% (税抜1.50%)	ファンドの純資産総額に対し、左記の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ABコースはファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。CDコースはファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。  法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ABコースはファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及びファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。CDコースは毎年2月及び8月に到来する計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。	組入有価証券の売買委託手数料：有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 信託事務の諸費用等：投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用及び受託会社の立替えた立替金の利息  法定書類等の作成等に要する費用：有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷及び提出等に係る費用 監査費用：ファンドの監査人等に対する報酬及び費用

※当該手数料・費用等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



## お申込みメモ ②

購入単位	100円以上1円単位 *または100口以上1口単位 * 購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記単位でご購入いただけます。 ※ただしスイッチングの場合は、1口単位です。
購入・換金価額	購入および換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。
スイッチング	各コース間にてスイッチングが可能です。 スイッチングに伴うご換金にあたっては、通常のご換金と同様に税金がかかります。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までで、販売会社が受付けたものを、当日のお申込み受付分とします。
設定日	Aコース／Bコース:2020年3月23日 Cコース／Dコース:2021年11月30日
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	Aコース／Bコース:2020年3月23日（設定日）から2030年3月25日まで Cコース／Dコース:2021年11月30日（設定日）から2031年8月20日まで
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
決算日	Aコース／Bコース:原則、毎年2月20日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。 Cコース／Dコース:原則、毎月20日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。
収益分配	Aコース／Bコース: 年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 Cコース／Dコース: 年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。
信託金の限度額	AコースおよびBコースの合計で1兆円、CコースおよびDコースの合計で1兆円
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、「ジュニアNISA」の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在のもので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。

委託会社	フィデリティ投信株式会社	運用の委託先	FIAM LLC	受託会社	野村信託銀行株式会社	販売会社	大和証券株式会社
------	--------------	--------	----------	------	------------	------	----------



# MEMO

# MEMO



## ご注意点

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・世界割安成長株投信 Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」「フィデリティ・世界割安成長株投信 Cコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)／Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)」が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

IM220715-1 CSIS220922-2